

小規模多機能ホーム福ちゃんの家

令和元年度 第4回 運営推進会議

開催日時 令和元年 11月9日(土) 14:00～

開催場所 福ちゃんの家 2階コミュニティルーム「TSUDOI」

運営推進委員

下荒井町内会長	堀江 達郎 様 (欠席)	
下荒井地区民生委員	吉野 洋美 様 (欠席)	渡邊 牧子 様
七郷地域包括支援センター	矢野 直美 様	
すず薬局六丁の目店	柳 利樹 様	
堀田 修クリニック	大山 道雄 様	
福ちゃんの家 利用者家族代表	渡邊 潤一 様	松木 みさ枝 様
福ちゃんの家 社長/管理者	福井 大輔 (欠席)	鈴木 隆洋
計画作成担当	叶内 亜紀	片山 智美

議 題

- 1、 福ちゃんの家より報告
- 2、 七郷地域包括支援センター様より
- 3、 町内会長より
- 4、 民生委員様より
- 5、 すず薬局様より
- 6、 利用者家族様より
- 7、 堀田修クリニック様より
- 8、 その他 報告・連絡 など

1、福ちゃんの家より報告

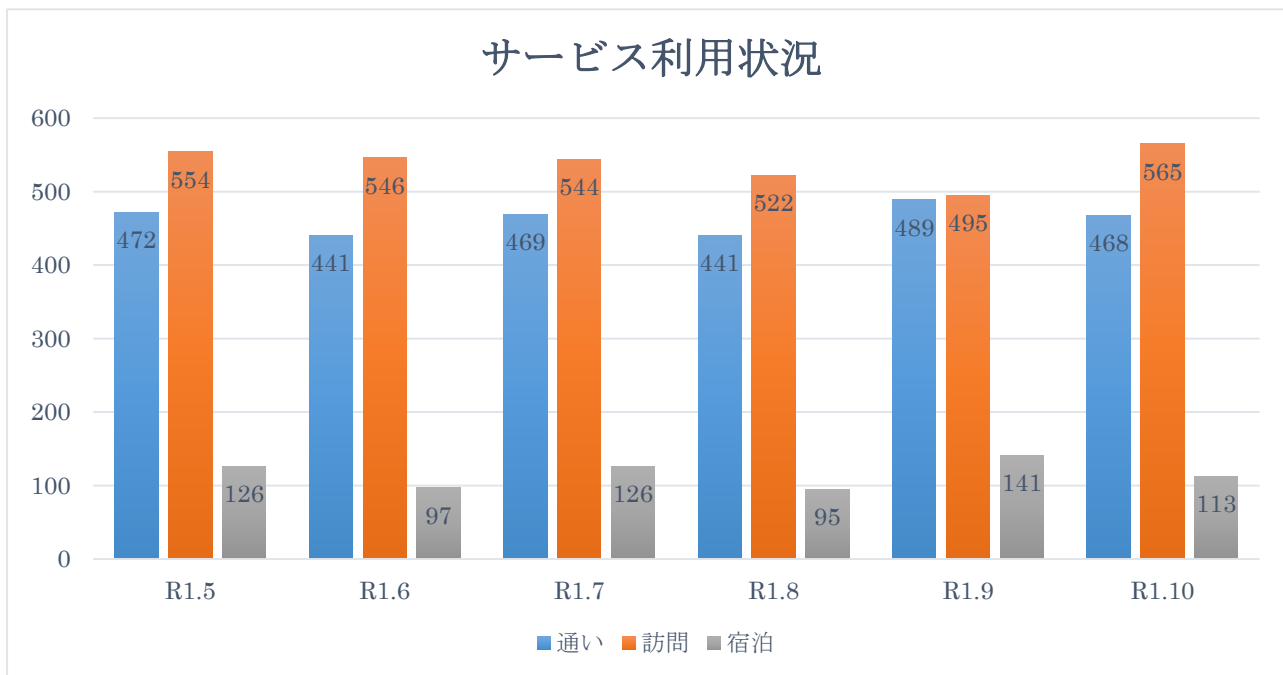
(1) 事業所の登録状況（令和元年 11月 8日現在）

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男 性	0名	1名	5名	1名	0名	0名	1名
女 性	0名	0名	5名	9名	2名	2名	0名
合 計	0名	1名	10名	10名	2名	2名	1名

合計 26名登録 ・ 平均要介護度 1.96（要支援者含まず）

自費利用：要支援1-男性3名、女性0名

要支援2-男性0名、女性1名



【新規利用契約者】

◎なし。

【契約終了者】

◎〇様…以前より申し込みをしていたグループホームに空きが出たため、入居の運びとなり契約終了。

【新規相談者】

◎新規相談での見学者 2件

- ・ 葵の園泉より紹介。糖尿病でインシュリン投与あり、インシュリンの回数調整ができれば受け入れの方向。
- ・ たけしま歯科での送迎介助中、声をかけられ、本日見学来所される。

(2) 事業所の事故報告 (令和元年9月13日～令和元年11月8日現在)

上記期間での事故報告について報告いたします。

事故項目	
転倒・転落	1件
誤飲・誤嚥など	0件
内服関係	0件
離設関係	0件
切傷等	2件
苦情	0件
車輻事故	2件

ひやりハット報告

ひやりハット	1件
--------	----

(3) その他

- 先日の台風19号について、利用者様、職員、事業所建物など大きな被害はなし。
雨量のピーク時に事業所前の駐車場が冠水、車のタイヤが1/3程水に浸かる。
独居の方を中心に念の為宿泊利用をしていただくなど対応を行う。
自宅が浸水の恐れあり、事業所へ緊急避難の連絡受けるが実際に避難せず済んだ方もいました。
- 営業を始めた駄菓子屋ふくふくですが、口コミで少しずつ近隣の小学生などが利用してくれています。
- 11/13から3日間七郷中学校の生徒による職場体験の受け入れを行います。(10時から15時 男の子5名)
- 来月はクリスマス会実施予定。

2、人事

11/10付けで介護職員 今野麻里子 退職。

3、事業所の活動報告

- 敬老会





・ケニア人留学生との交流



・料理教室、焼き芋





・かわまちテラス、松島西行戻しの松公園への外出



・ハロウィン



※次回開催は 令和2年 1月11日(土) 14時~となります。

令和元年度 第四回 運営推進会議 議事録

・七郷包括支援センター 矢野様

本日防災訓練実施。七郷中学校には約 850 人、小学校には 2 千人近く集まったの開催。

来年は新しく小学校も開校し人数も増えるため、変更点があるかと思われる。

上記の防災について、地域の介護事業所にも広げる必要がある為、11/12 七郷ナースの会の研修会があるため、防災についての体制づくりを伝えていく。11/13 ケアマネ研修会。

最近の包括への相談件数としては、病院からの骨折後の退院先についてが多くなっている。寒くなっていることも影響あるのか…。

・民生委員 渡邊様

11/17 (日) 市民祭りが 9 時から開催される。昨年同様、七郷地区 3 万人の半分位が参加するかと思われる。

体育館では舞踊などもあるため、福ちゃんの方も参加してほしい。社協だよりに福ちゃんの利用者が写っており、とても表情が良いなと思った。他の事業所もボランティア募集が多く掲載されており、人手不足なのかと感じた。

・すず薬局 柳様

先日の若林区民祭りでブースを設け通常のお薬相談の他にちびっこ参加の調剤体験なども実施してみた。80 名位の参加があり反響も大きくなった。来春にはまた下荒井地区で催し物を開催出来ればと思っている。

・家族代表 渡邊様

台風 19 号について、当日は姉が本人宅に泊まり一緒に過ごしたが、この地区はハザードマップで 40~50 cm の浸水域となっており、必要に応じた利用者への声掛け (2 階への避難など)、アナウンスがあればいい。

包括への相談で骨折が多いと聞くと、筋力維持の体操など事業所で増やしてほしい。そのような体操ボランティアの導入などあればいいと思う。

・家族代表 松木様

筋力維持の話題で感じることは、私の義母も 2 年前に骨折したが、事業所の体操や自宅で椅子に掴まり少しでも歩くなど運動を増やすことで、最近ではトイレを終えると自力で車椅子に移り、出てくるようになった。事業所での運動は増やしてほしい。

以前相談した本人の通い拒否について、当日は通いの事を本人に伝えないようにしている。声をかけないと落ち着いていることが出来、事業所職員が迎えに来てくれればスムーズに出発できている。

帰宅後は通いの感想や食事について聞いても何も覚えていないのか明確な返答がほとんどない。

・堀田修クリニック 大山様

今回の台風で感じたことは、独居の人などが避難した際に近所など周囲に伝える方法はどうか。

避難を知らせる貼り紙などをしてしまえば周知はできるが、空き巣などの可能性もあるため難しい所ではある。

最近のクリニックの様子としてはインフルエンザ予防接種の来院が増えてきている。昨年に比べワクチンの確保は出来ており、今年は予約制ではなく、当日朝の確認の電話で対応できるので接種希望であれば、朝に電話してほしい。